■編集・発行／石狩市企画経済部秘書広報課　〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2　☎0133-72-3145　FAX0133-74-5581
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/　hisyokoho@city.ishikari.hokkaido.jp
■制作／(株)キューブコーポレーション
■印刷・製本／(株)アイワード
■配布問合せ／(有)スポット企画　☎0133-73-5444
厚田区・浜益区は各支所へ　厚田 ☎78-2011　浜益 ☎79-2111

広告

◎石狩随想 131

真球（しんきゅう）は存在しないというが

「最近の野球はつまらない」と聞くと時代錯誤で独りよがりの価値観を後生大事にしているオールドファンの姿を想像されるでしょう　▼実は私は間違いなくその類に入る。「神様、仏様、稲尾様」までさかのぼらなくても、数々の名勝負をラジヲ、テレビジョンで観戦した者にとって、現在の打撃優先の野球はおもしろいものの、つまらないとへそを曲げたくなる　▼一本のホームランにどよめくスタンド、球場全体が沸騰する劇場型。「最高デース」を連発する殊勲選手たちのワンフレーズに象徴されるように、あまりにも率直な喜び様は、疑似監督として戦略を練りながら観戦する者にとっては幼すぎる感は否めない　▼ファインプレーの背景には塁間同士の呼吸や、距離感、キャッチャーからの一球ごとに出される守備位置の変更が重要だ。バッターには得意ポイントの隣接にこそ苦手がある。コントロールよく三振を取られたとしても、両者から充実感が漂った。これぞ勝負だとスタンドのにわか監督たちは「分かるんだよなぁー」とビールを干す。プレーヤーとの気持ちの共有がたまらないんだろう。これこそ野球文化だと思い続けている　▼高校球児の夏がやってきた。練り抜かれたサインプレーに団体競技の妙あり。ヒーローの陰にヒーローあり。そこを見抜いてやりたい。と自称野球オタクは独り言を口にする。

（市長）